



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 大野真澄

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	27,151	8.7	1,218	42.6	1,112	△30.3	898	△14.0
26年3月期第1四半期	24,967	20.9	854	△15.2	1,596	2.5	1,044	△3.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 395百万円 (△83.7%) 26年3月期第1四半期 2,432百万円 (52.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	50.45	43.19
26年3月期第1四半期	59.27	50.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	85,154	42,186	49.1	2,320.14
26年3月期	88,209	42,561	47.8	2,376.72

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 41,846百万円 26年3月期 42,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,400	4.2	2,600	9.3	2,600	△20.9	1,400	△38.9	78.90
通期	116,000	5.2	6,908	48.3	6,800	11.4	4,400	△6.0	247.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	18,582,151 株	26年3月期	18,290,486 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	545,825 株	26年3月期	545,811 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	17,803,985 株	26年3月期1Q	17,628,166 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられましたが、政府の経済対策による公共投資の増加が支えとなり、景気は回復基調に推移しました。海外においては、米国景気は緩やかな成長基調を維持しましたが、新興国では政情不安や成長の鈍化がみられ、不透明な状況が続きました。

自動車業界におきまして、国内においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響を受け、海外においてはタイなどの新興国で減産になりましたが、北米や中国では需要拡大傾向に推移いたしました。

このような経営環境の中で当社グループは、2020年までの新長期経営ビジョン「Dream 2020」のフェーズ1の3年目となる当期において、次世代の今仙グループの柱となる新規事業、新技術の創出及びグローバルで通用する人材育成・強化を目的とした「IMASENグローバル開発・研修センター」を設立することを決定しました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は北米及び中国における受注が増加したことにより、27,151百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は1,218百万円（前年同期比42.6%増）、経常利益は為替差損益の影響などにより1,112百万円（前年同期比30.3%減）、四半期純利益は898百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度まで自動車販売関連事業を営んでおりました名北自動車株式会社は、平成26年4月に清算したため、連結の範囲から除外しております。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、タイでの受注が減少したものの、北米及び中国での受注が増加したことにより、売上高は26,068百万円（前年同期8.7%増）、営業利益は1,208百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連及び工作機械関連向けの受注が増加したことにより、売上高は814百万円（前年同期比40.8%増）、営業利益は2百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

電動車いすの受注が増加したものの、高付加価値製品の販売が減少したことなどにより、売上高は269百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は4百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第1四半期末における総資産は、85,154百万円（前期末比3,054百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（978百万円）などにより、49,136百万円（前期末比1,789百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の減少（796百万円）などにより、36,018百万円（前期末比1,265百万円の減少）となりました。

(ロ) 負債

当第1四半期末における負債は、42,968百万円（前期末比2,679百万円の減少）となりました。流動負債は、27,629百万円（前期末比2,320百万円の減少）、固定負債は、15,338百万円（前期末比359百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第1四半期末における純資産は、為替換算調整勘定の減少（496百万円）などにより、42,186百万円（前期末比374百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、1,910百万円（前年同期比122.6%増）、投資活動に使用した資金は、813百万円（前年同期比43.3%減）、財務活動の結果減少した資金は、1,397百万円（前年同期比135.2%増）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は10,218百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,910百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が1,103百万円、減価償却費が1,397百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、813百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が721百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,397百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が511百万円、リース債務の返済による支出が382百万円、配当金の支払額が230百万円であったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が446百万円減少、退職給付に係る負債が824百万円増加し、利益剰余金が818百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,015	10,839
受取手形及び売掛金	22,283	21,304
電子記録債権	3,893	4,466
たな卸資産	9,473	9,377
その他	4,260	3,149
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	50,925	49,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,690	8,485
機械装置及び運搬具(純額)	9,764	9,584
その他(純額)	11,738	11,328
有形固定資産合計	30,194	29,398
無形固定資産		
その他	1,553	1,481
無形固定資産合計	1,553	1,481
投資その他の資産		
投資有価証券	4,787	4,801
退職給付に係る資産	446	—
その他	374	398
貸倒引当金	△73	△61
投資その他の資産合計	5,535	5,138
固定資産合計	37,283	36,018
資産合計	88,209	85,154
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,734	8,446
電子記録債務	6,535	6,488
1年内償還予定の社債	5	5
短期借入金	4,553	3,973
未払法人税等	613	681
賞与引当金	1,247	508
製品保証引当金	152	149
その他	8,107	7,377
流動負債合計	29,950	27,629
固定負債		
社債	3,370	3,048
長期借入金	5,310	5,277
退職給付に係る負債	1,503	2,341
その他	5,513	4,671
固定負債合計	15,697	15,338
負債合計	45,647	42,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,613	4,774
資本剰余金	4,346	4,507
利益剰余金	30,322	30,171
自己株式	△439	△439
株主資本合計	38,843	39,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	1,785
為替換算調整勘定	1,590	1,093
退職給付に係る調整累計額	△76	△46
その他の包括利益累計額合計	3,330	2,832
少数株主持分	387	339
純資産合計	42,561	42,186
負債純資産合計	88,209	85,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	24,967	27,151
売上原価	21,878	23,527
売上総利益	3,088	3,624
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	709	878
給料手当及び賞与	584	608
賞与引当金繰入額	75	71
退職給付費用	32	26
減価償却費	46	77
その他	784	742
販売費及び一般管理費合計	2,233	2,405
営業利益	854	1,218
営業外収益		
受取利息	20	29
受取配当金	24	42
為替差益	744	—
その他	44	64
営業外収益合計	834	135
営業外費用		
支払利息	62	89
貸倒引当金繰入額	22	—
為替差損	—	141
その他	7	11
営業外費用合計	92	242
経常利益	1,596	1,112
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	22	9
特別損失合計	22	9
税金等調整前四半期純利益	1,574	1,103
法人税、住民税及び事業税	275	257
法人税等調整額	241	△58
法人税等合計	517	198
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056	904
少数株主利益	11	6
四半期純利益	1,044	898

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056	904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	△31
為替換算調整勘定	1,201	△507
退職給付に係る調整額	—	30
その他の包括利益合計	1,376	△508
四半期包括利益	2,432	395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,404	399
少数株主に係る四半期包括利益	27	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,574	1,103
減価償却費	1,244	1,397
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△695	△739
受取利息及び受取配当金	△44	△71
支払利息	62	89
固定資産処分損益 (△は益)	21	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△871	△6
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△157	△72
仕入債務の増減額 (△は減少)	△256	△22
その他	139	345
小計	1,041	2,032
利息及び配当金の受取額	40	80
利息の支払額	△62	△89
法人税等の支払額	△161	△112
営業活動によるキャッシュ・フロー	858	1,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△41	△85
有形固定資産の取得による支出	△1,385	△721
有形固定資産の売却による収入	1	67
投資有価証券の取得による支出	△4	△62
その他	△4	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,434	△813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△53	△279
長期借入れによる収入	250	50
長期借入金の返済による支出	△223	△511
リース債務の返済による支出	△361	△382
配当金の支払額	△176	△230
その他	△30	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△594	△1,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	313	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△856	△240
現金及び現金同等物の期首残高	7,573	10,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,717	10,218

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	23,978	578	260	150	24,967	—	24,967
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	0	3	4	△4	—
計	23,978	578	260	153	24,971	△4	24,967
セグメント利益又は損失(△)	884	△22	8	△17	852	2	854

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,068	814	269	27,151	—	27,151
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	26,068	814	269	27,151	△0	27,151
セグメント利益	1,208	2	4	1,215	2	1,218

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで自動車販売関連事業を営んでおりました名北自動車株式会社は、平成26年4月に清算いたしました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。